



6/25 (木) 30年ぶりの帰郷、沖縄へ恩返し 手指消毒液320本寄贈

栃木県下野市の新機能科学株式会社の松野信弘専務取締役より、浦添市内の幼児、児童、生徒への新型コロナウイルス感染拡大予防に役立てて欲しいと、浦添市教育委員会へ手指消毒液(シェリール泡のてぶくろ 500ml) 320本の寄贈がありました。

松野専務はコロナ禍で故郷の沖縄に恩返しができな
いかと考えていたところ、かつての恩師が教育長に就任
したと知り、若い頃、迷惑をかけた母親へのお礼と中学
のときお世話になった教育長に会うために、30年ぶり
の沖縄への帰郷を決意しました。當間教育長は「立派に
なったね。子どもを守るための寄贈を本当にありがとう」
と感謝の言葉を述べました。



6/29 (月) 勇気ある行動を表彰

浦添市消防本部で消防表彰が行われ、市内に住む栗
国正和さんに感謝状が贈呈されました。栗国さんは今年
2月4日に自宅の隣家の駐車場で起きた火災に遭遇した
際、火が燃え広がる前に消火器による初期消火を実施し
ました。その迅速な判断と勇気ある行動が延焼拡大を
防ぐ一役を担いました。

嘉味田消防長は「本件は、住宅へ延焼する危険性が
非常に高い事案でありました。栗国さんの行動は、全国
統一防火標語『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』を
まさに体現した活躍であり、心から感謝申し上げます」
とお礼を述べました。



6/21 (日) 浦添市立中央公民館講座 日食のふしぎ

太陽の一部が欠けて見える部分日食が、日本全国
で観測されました。特に沖縄は約8割が欠ける大天体
ショーとなりました。公民館では浦添星空サポーターの
協力を得て、日食グラスや望遠鏡の準備を行い、当日は
小学生から70代までの受講者15人が参加しました。

はじめに、日食のしくみを講師が説明し、金環日食が
観測されるインドや台湾の様子をネットのライブ配信で
観察しました。午後4時に沖縄では太陽が欠け始め、午
後5時17分には最大に欠けた太陽が三日月のように細
くなり、参加者の皆さんは天体の不思議に感動していま
した。



6/26 (金) うらそえ織と琉球ガラスが届きました

浦添市市制施行50周年記念式典の記念品として、琉
球ガラス村 現代の名工の平良恒雄さんから琉球ガラス
『深海皿』と、うらそえ織協同組合の平良さくらさんから
うらそえ織『海』の各140セットの納品がありました。

平良恒雄さんは「3色の原料で丁寧に仕上げました。私
自身も浦添市に住んで50年になるのでこれからも作品
を通して関わっていければ」と話し、平良さくらさんは「浦
添西海岸をイメージして何度もデザインを精査し、ようやく
完成しました」と作品へのこだわりを紹介しました。併
せて琉球ガラス村から平良恒雄さんが手掛けた花器『島
景色』が贈呈されました。



7/1 (水) ラジオ放送で記念日を盛り上げる

浦添市市制施行50周年とラジオ沖縄開局60周年を
記念したラジオ公開生放送をアイム・ユニバース てだこ
ホールで行いました。

お昼の人気ラジオ番組ティーサージ・パラダイスと
グートゥーミートゥーに松本市長や、7月1日に誕生した
浦添市てだこキッズファースト宣言大使のマスコット
キャラクターてだ子が参加し、浦添市の記念日を祝いま
した。新型コロナウイルスの影響でラジオ沖縄でも今回
が今年初めての公開放送となり、会場のラジオファンや
出演者の皆さんは大いに盛り上がり、番組を聴いたリス
ナーからも多くの反響が寄せられました。



6/17 (水) 浦添市立中央公民館講座 平和キャラバン

港川小学校の校内放送で全児童に「対馬丸沈む」の
朗読を行いました。各クラスに映し出されるスクリー
ンの挿絵を見ながら、公民館で活動しているサークル
「人間各赫」による朗読は平和の大切さを訴えるものと
なりました。

子どもたちは学童疎開船対馬丸の生存者である上原
清さん(当時9歳)が150キロメートルもの距離を6日間
漂流する内容に聞き入りました。

戦後75年を迎える今年、コロナ禍で今までとは違う
平和講座になりましたが、各教室から聞こえてくる合唱
や誓いの言葉は、ひとりひとりの平和への想いが詰まっ
ていました。

話題がいっぱい!
なかゆくい



6/1 (月) # (ハッシュタグ) でつなげる ～23 (火) 未来の平和

令和2年度の平和発信事業では、慰霊の日に向けて市
民の皆さんに個人のFacebookやInstagram、LINEなど
のSNSで「#うらそえ平和」とハッシュタグを付けて明る
い未来を想像させるような写真や動画を投稿していただ
きました。

投稿された写真の一部を6月15日から26日まで開催さ
れた6月平和パネル展で紹介しました。

投稿者からは、「今ある日常が平和そのものだと感じる
ことができた」「身近にある幸せを探す時間が楽しかった」
という声が寄せられ、市民の皆さんと一緒に平和について
考える素晴らしい機会となりました。